

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第15期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
【会社名】	株式会社ミクシィ
【英訳名】	mixi, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 朝倉 祐介
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第1四半期 連結累計期間	第15期 第1四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月 30日	自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月 30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日
売上高 (百万円)	3,539	2,144	12,632
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	871	193	2,629
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (百万円)	562	253	1,654
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	559	197	1,691
純資産額 (百万円)	15,148	15,768	16,291
総資産額 (百万円)	19,082	18,868	20,083
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は四半期純損失金額 (円)	37.71	16.96	110.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	37.66	-	110.73
自己資本比率 (%)	79.1	83.2	80.8
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	452	210	2,836
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	68	2,371	946
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	108	265	137
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	7,824	11,143	9,199

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 第15期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、平成25年7月1日付でSNS「mixi」の広告販売事業等を営む株式会社ミクシィマーケティングを設立いたしました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年5月15日開催の取締役会において、当社のソーシャルネット事業のうち、インターネット広告事業（インターネット広告に関する企画、制作及び広告代理に関する事業並びにインターネット広告に関するソフトウェア（Demand-Side Platform 事業に関するものに限る。）の企画、設計、開発、使用許諾及び販売に関する事業）に関する権利義務を、新設分割により新設する株式会社ミクシィマーケティングに承継させることを決議し、新設分割計画書の内容に基づき平成25年7月1日に新設分割を行いました。

#### (1) 新設分割の目的

広告事業をより一層発展させるためには、マーケットの変化に柔軟に対応できる体制等を実現することが必要であると考え、本分割を実施いたします。今後、新設会社が当該事業に注力することで、ミクシィグループ全体としての事業価値の最大化を実現させてまいります。

#### (2) 新設分割の方法

当社が分割会社、新たに設立される株式会社ミクシィマーケティングを新設会社とする新設分割であり、新設会社は、当社の100%子会社であります。

#### (3) 分割期日

平成25年7月1日

#### (4) 分割に際して発行する株式及び割当

新設会社は、本分割に際して普通株式2,000株を発行し、その全部を当社に割り当てます。

#### (5) 割当株式数の算定根拠

本新設分割は、当社が単独で行うものであり、本新設分割に際して発行する株式のすべてが当社に割当交付されることから、新設会社の資本金の額等を考慮し、上記株式数を当社に交付することが相当であると判断したものであります。

#### (6) 分割するインターネット広告事業の経営成績

平成25年3月期の売上高 4,680百万円（注）

（注）インターネット広告事業に従事している当社のパートナービジネス本部の売上高を記載しております。インターネット広告事業に関しては、当社と株式会社ミクシィマーケティングとの間で広告販売に関する契約を締結しており、同社においては、同契約に基づいて当社に対する売上高が計上される予定です。

#### (7) 分割する資産・負債の状況（平成25年6月30日現在）

資産 392百万円  
負債 -

#### (8) 株式会社ミクシィマーケティングの概要

代表者	代表取締役 辻 正隆
住所	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
資本金	100百万円
事業内容	インターネット広告事業

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	3,539	2,144	39.4%
営業利益又は営業損失 ( ) (百万円)	889	84	- %
経常利益又は経常損失 ( ) (百万円)	871	193	- %
四半期純利益又は四半期純 損失( ) (百万円)	562	253	- %
アプリ会員数	600万人 (平成24年6月)	1,107万人 (平成25年6月)	-

(注) アプリ会員数は、当社グループ提供のスマホアプリダウンロード数の積算値(当社調べ)になります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られたものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧州経済の長期低迷等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

インターネット関連業界におきましては、「2012年度通期国内携帯電話端末出荷概況」(株式会社MM総研)によりますと、平成24年度のスマートフォン出荷台数は前年度比23.0%増の2,972万台で総出荷台数の71.1%となり、スマートフォンへの移行が加速しております。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,144百万円(前年同四半期比39.4%減)となり、営業損失は84百万円(前年同四半期は営業利益889百万円)、経常損失は193百万円(前年同四半期は経常利益871百万円)、四半期純損失は253百万円(前年同四半期は四半期純利益562百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ソーシャルネット事業

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	3,283	1,877	42.8%
広告売上高(百万円)	1,426	472	66.9%
課金売上高(百万円)	1,857	1,404	24.4%
セグメント利益(百万円)	1,216	395	67.5%

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、「つながりを スマホアプリで つくる」をキーワードとして、スマホアプリの開発に注力しております。アクティブユーザー増加に向けて「mixi」主要サービスのスマホアプリ化とコンテンツ系スマホアプリの提供を進めておりますが、これらを実現するためのスマホアプリエンジニアを、教育・研修・配置転換等によりフロントエンドのエンジニア割合の44%まで拡大しております。

収益面では、課金売上における取組みとして、株式会社ディー・エヌ・エーと業務提携し、「Mobage」と開発基盤を共通化したスマートフォン版「mixiゲーム」を平成25年5月9日にリニューアルオープンしております。これにより、多くの魅力的なタイトルが拡充し、課金売上が拡大することを見込んでおりますが、当四半期におきましては5月リニューアルということもあり、四半期売上への貢献が部分的であること、及びフィーチャーフォン版「mixiゲーム」の売上が減少していることから、課金売上高は減少しております。一方、広告売上においては、デバイス環境の変化等の影響から広告売上高が減少しております。

また、前期より引続きコストコントロールを進めてまいりました。この結果、当事業の売上高は1,877百万円(前年同四半期比42.8%減)、セグメント利益は395百万円(前年同四半期比67.5%減)となりました。

Find Job !事業

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	239	226	5.2%
セグメント利益(百万円)	205	181	11.6%

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることによって収益の拡大を目指してまいります。

当事業は堅調に推移しておりますが、売上高は226百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は181百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

財政状態

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が15,565百万円（前連結会計年度末比1,152百万円減少）となり、主な要因としては、売掛金の減少があげられます。固定資産は3,302百万円（前連結会計年度末比62百万円減少）となり、主な要因としては、有形固定資産の減損による減少があげられます。

負債については、流動負債が3,025百万円（前連結会計年度末比705百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人等の支払いによる減少があげられます。固定負債は74百万円（前連結会計年度末比14百万円増加）となりました。純資産は15,768百万円（前連結会計年度末比523百万円減少）となり、主な要因としては、利益剰余金の減少があげられます。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて1,944百万円増加し、11,143百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は210百万円（前年同四半期は452百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が227百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は2,371百万円（前年同四半期は68百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の払戻による純収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は265百万円（前年同四半期は108百万円の使用）となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,800,000
計	52,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,510,600	15,510,600	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株であります。
計	15,510,600	15,510,600	-	-

(注) 「提出日現在発行数」の欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日 (注)	15,355,494	15,510,600	-	3,765	-	3,735

(注) 株式1株につき100株の株式分割を行ったことによる増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

なお、平成25年4月1日付で株式1株を100株に分割し、100株を1単元とする単元株制度を採用しておりますが、記載数値は当該株式分割の影響を考慮しておりません。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 5,786	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 149,320	149,320	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	155,106	-	-
総株主の議決権	-	149,320	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミクシィ	東京都渋谷区東 一丁目2番20号	5,786	-	5,786	3.73
計	-	5,786	-	5,786	3.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,199	12,643
売掛金	3,266	2,585
その他	361	434
貸倒引当金	110	99
流動資産合計	16,717	15,565
固定資産		
有形固定資産	916	820
無形固定資産	277	321
投資その他の資産		
投資有価証券	1,192	1,144
その他	1,048	1,086
投資損失引当金	68	68
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	2,171	2,160
固定資産合計	3,365	3,302
資産合計	20,083	18,868
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	925	715
未払法人税等	377	72
預り金	2,116	2,053
賞与引当金	197	100
その他	114	84
流動負債合計	3,731	3,025
固定負債		
資産除去債務	21	18
その他	38	56
固定負債合計	59	74
負債合計	3,791	3,100
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	10,409	9,827
自己株式	1,690	1,690
株主資本合計	16,220	15,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4	59
その他の包括利益累計額合計	4	59
新株予約権	67	69
純資産合計	16,291	15,768
負債純資産合計	20,083	18,868

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,539	2,144
売上原価	984	695
売上総利益	2,554	1,448
販売費及び一般管理費	1,665	1,533
営業利益又は営業損失( )	889	84
営業外収益		
受取利息	2	1
投資事業組合運用益	19	0
為替差益	-	5
その他	3	4
営業外収益合計	25	11
営業外費用		
持分法による投資損失	20	117
為替差損	22	-
その他	-	1
営業外費用合計	42	119
経常利益又は経常損失( )	871	193
特別利益		
関係会社株式売却益	86	-
その他	1	1
特別利益合計	88	1
特別損失		
固定資産除却損	3	1
減損損失	-	34
特別損失合計	3	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	957	227
法人税、住民税及び事業税	106	66
法人税等調整額	287	40
法人税等合計	394	25
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	562	253
四半期純利益又は四半期純損失( )	562	253

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	562	253
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	55
その他の包括利益合計	3	55
四半期包括利益	559	197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559	197

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	957	227
減価償却費	117	78
減損損失	-	34
のれん償却額	6	22
貸倒引当金の増減額( は減少)	22	11
賞与引当金の増減額( は減少)	81	97
受取利息及び受取配当金	2	1
為替差損益( は益)	17	14
持分法による投資損益( は益)	20	117
投資事業組合運用損益( は益)	19	0
固定資産除却損	3	1
関係会社株式売却損益( は益)	86	-
売上債権の増減額( は増加)	547	680
未払金の増減額( は減少)	105	235
未払消費税等の増減額( は減少)	32	38
預り金の増減額( は減少)	58	108
その他	2	65
小計	1,373	134
利息の受取額	3	3
法人税等の支払額	924	348
営業活動によるキャッシュ・フロー	452	210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,500	1,000
定期預金の払戻による収入	1,500	3,500
有形固定資産の取得による支出	25	31
無形固定資産の取得による支出	5	67
投資有価証券の取得による支出	-	106
投資有価証券の分配による収入	-	77
関係会社株式の売却による収入	97	-
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	68	2,371
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	10	-
配当金の支払額	118	265
財務活動によるキャッシュ・フロー	108	265
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	49
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	401	1,944
現金及び現金同等物の期首残高	7,423	9,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,824	11,143

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	10,825百万円	12,643百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	3,000百万円	1,500百万円
現金及び現金同等物	7,824百万円	11,143百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	149	1,000	平成24年3月31日	平成24年6月7日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	328	2,200	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,283	239	3,522	16	3,539	-	3,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	0	-	0	0	-
計	3,283	239	3,522	16	3,539	0	3,539
セグメント利益又は損 失( )	1,216	205	1,421	29	1,392	503	889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スマートフォンアプリの開発や米  
国における市場調査を行う事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 503百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門  
等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job ! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,877	226	2,103	40	2,144	-	2,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	1	5	10	16	16	-
計	1,881	228	2,109	51	2,160	16	2,144
セグメント利益又は損 失( )	395	181	576	127	449	534	84

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットリサーチや当社イノベーションセンターによる新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 534百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 株式会社kamadoについては、従来、報告セグメントに含めておりませんでした。が、事業形態の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より「ソーシャルネット事業」に区分変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	全社	合計
	ソーシャル ネット事業	Find Job !事業	計			
減損損失	34	-	34	-	-	34

(注) ソーシャルネット事業の減損損失は、上海蜜秀網絡科技有限公司及び上海明希網絡科技有限公司を清算する意思決定を行ったこと等に伴うものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	37.71円	16.96円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (百万円)	562	253
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	562	253
普通株式の期中平均株式数(株)	14,921,149	14,932,000
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	37.66円	-円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	191	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1. 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月15日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 328百万円  
1株当たりの金額 2,200円00銭  
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月10日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社ミクシィ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 桐 光 康 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 菊 地 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミクシィの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミクシィ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。